

参考1 救急搬送・死亡要因順位

(1) 救急搬送順位 (2014～2023年累計) ※病気を除く

	1位		2位		3位		4位		5位	
新生児～乳幼児 (0～6歳まで)	一般負傷	1,084人	交通事故	281人	加害	8人	運動競技 水難	2人		
少年 (7～17歳まで)	交通事故	1,218人	運動競技	624人	一般負傷	602人	自損行為	53人	加害	13人
成人 (18～64歳まで)	交通事故	6,600人	一般負傷	3,641人	自損行為	877人	労働災害	826人	加害	392人
高齢者 (65歳以上)	一般負傷	10,941人	交通事故	2,407人	自損行為	168人	労働災害	152人	加害	67人
全年齢	一般負傷	16,268人	交通事故	10,506人	自損行為	1,098人	労働災害	980人	運動競技	914人

(備考) 1 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 「急病」、「その他」を除く

(2) 年齢層別死亡要因順位 (2014～2022年累計) ※病気を除く

年齢層	1位		2位		3位		4位		5位	
10-19歳	自殺	18人	交通事故	5人						
20-29歳	自殺	53人	交通事故	7人						
30-39歳	自殺	73人	交通事故	4人						
40-49歳	自殺	92人	交通事故	16人	転倒・転落	4人				
50-59歳	自殺	91人	交通事故	17人	転倒・転落 窒息	9人	煙・火・火災	7人		
60-69歳	自殺	69人	交通事故	20人	窒息	19人	転倒・転落 溺死・溺水	17人	煙・火・火災	9人
70-79歳	自殺	64人	窒息	36人	転倒・転落 溺死・溺水	30人	交通事故	22人	煙・火・火災	8人
80-89歳	窒息	101人	転倒・転落	76人	溺死・溺水	57人	自殺	45人	交通事故	17人
90歳以上	転倒・転落 窒息	58人	溺死・溺水	11人	自殺	7人	煙・火・火災	4人		
全年齢	自殺	512人	窒息	231人	転倒・転落	197人	溺死・溺水	127人	交通事故	110人

(備考) 1 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

2 「傷病及び死亡の外因」のうち「その他の外因」、「その他の不慮の事故」を除く

3 死亡者数が3人以下の死因は記載していない

参考2 救急搬送データの項目説明

(1) 年齢区分

区分	内容
新生児	生後28日未満の者
乳幼児	生後28日以上満7歳未満の者
少年	満7歳以上満18歳未満の者
成人	満18歳以上満65歳未満の者
高齢者	満65歳以上の者

(備考) 「消防白書」(総務省消防庁)より引用

(2) 事故種別(傷基本)名

セーフコミュニティの対象とするもの

区分	事故種別	概要
不慮の事故	火災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
	自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
	水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
	交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
	労働災害事故	各種工事、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
	運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。
	一般負傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
故意の事故	加害	故意に他人によって障害等を加えられた事故をいう。
	自損行為	故意に自分自身に障害等を加えた事故をいう。

(備考) 「救急業務規程(平成19年3月27日消防訓令第16号)」より引用

(3) 傷病程度名

傷病程度	内容
軽症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
中等症	傷病程度が重症又は軽症以外のもの
重症	傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において死亡が確認されたもの

(備考) 「消防白書」(総務省消防庁)より引用

(4) 発生場所大分類名と発生場所中分類名(住宅は発生場所小分類名あり)

大分類名	住宅
中分類名	住宅(2階以下)、高層住宅(3階以上)
小分類名	居室(居間、応接室、寝室など)
	廊下(玄関などの通路を含む)
	浴室(シャワー室、洗面所を含む)
	台所(食堂を含む)
	庭(テラス等を含む)
	階段(踊場を含む)
	便所
	屋根(屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等を含む)
	その他(物置、地下室、車庫等)

参考2 救急搬送データの項目説明

大分類名	公衆
中分類名	寺・神社・教会等
	デパート：百貨店、延べ面積1,000㎡以上の大規模な小売店舗
	遊技場：ボウリング場、パチンコ等の各種遊技場
	官公庁：官公庁、大使館、公使館、領事館等の公共施設
	駐車場、車庫（一般住宅、高層住宅の車庫、駐車場を除く）
	公衆浴場・蒸気・熱気浴場
	マーケット、店舗、展示場：あらゆる店舗、はり灸マッサージ業等
	老人ホーム：老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設
	待合、料理店、飲食店：待合、料理店、飲食店
	運動場（学校等のグラウンドを除く）、競技場、各種スポーツ施設
	駅構内（ホーム等を含む）：駅舎、ホール、電車内等
	公会堂、集会場：会議、社交等の目的で多数の人々が集まる場所
	小・中・高・大学（グラウンド、附属設備を含む）
	各種学校の許可を受けているもの（グラウンド、附属設備を含む）
	キャバレー、カフェ、ナイトクラブ
	性風俗関連特殊営業を営む店舗等
	旅館、ホテル、宿泊所（バンガロー含む）
	劇場、映画館、演芸場、観覧場：劇場、映画館等の観覧場
	映画・テレビスタジオ：映画・テレビスタジオ（構内を含む）
	盲・ろう学校養護学校（グラウンド、附属施設等含む）
	病院：病床数20以上の医療機関
	図書館、博物館、美術館、郷土館、記念館、画廊等
	地下街（地下街にある店舗及びそれに付随するもの）
	診療所（医院）：病床数19以下の診療所、医院
	幼稚園（グラウンド、附属設備を含む）：幼稚園、保育園等
	その他の公共の場所（動物園、遊園地、キャンプ場等）
大分類名	道路
中分類名	一般道路（一般の交通の用に供する場所、歩道、歩道橋）
	自動車専用道路（バイパス等）
	交差点
	カーブ（一般道路のカーブ）
	横断歩道（一般道路の歩道）
	高速自動車道
	その他
大分類名	仕事場
中分類名	屋外工事現場（建設、建築の屋外の場所）
	地下室（工場、作業所、各種事業所、倉庫の地下室）
	事務所（各種事業所の事務所）
	廊下・通路
	屋外作業場（工場以外の屋外の作業所）
	階段（踊場を含む）
	工場（敷地を含む）
	食堂
	倉庫（地下倉庫を除く）
	屋内工事現場（建設、建築の屋内の場所）
	便所
	格納庫（飛行機、ヘリコプター等の格納庫）
	その他

参考2 救急搬送データの項目説明

大分類名	その他
中分類名	広場（公共用）
	山林・原野：山、森林、原野、ゴルフ場
	公園：公園、庭園、児童公園、遊歩道等
	軌道敷、踏切：軌道敷内及び踏切
	河・池：河川、運河、池、沼、貯水池等
	空地（庭、広場以外）：河川敷、堤防、更地等の空地
	農地：田、畑等の農地
	その他（発生場所不明等含む）

（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）より引用

参考3 人口動態統計の項目説明

死因分類表（死因簡単分類表）

セーフコミュニティの対象とするもの

死因簡単分類コード	分類名	基本分類コード
20000	傷病及び死亡の外因	V01～Y89
20100	不慮の事故	V01～X59
20101	交通事故	V01～V99
20102	転倒・転落・墜落	W00～W19
20103	不慮の溺死及び溺水	W65～W74
20104	不慮の窒息	W75～W84
20105	煙、火及び火災への曝露	X00～X09
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	X40～X49
20107	その他の不慮の事故	W00～X59の残り
20200	自殺	X60～X84
20300	他殺	X85～Y09
20400	その他の外因	Y10～Y89

（備考）1 「疾病、傷害及び死因の統計分類 ICD-10（2013年版）準拠 死因分類表」（厚生労働省）より引用

2 基本分類コードはICD-10（2013年版）準拠 内容例示表「第20章 傷病及び死亡の外因（V01-Y98）」に記載

3 「人口動態統計」（厚生労働省）より引用

- ・死因基本分類表…人口動態統計で使用する死因基本分類表は、日本分類に更に人口動態統計用としての細分類項目を加えたもの
- ・死因分類表（死因簡単分類表）…我が国の死因構造を全体的に概観することを目的とし、死因基本分類表をもとに、WHOの死亡製表用リストを参考にして作成した分類表